

【校長通信 4月15日号】

箕面自由学園中学校・高等学校
校長 田中 良樹

「現状を自分なりにどうとらえるのか」

学園の丘の上の桜は、もう葉桜になってしまいました。

2020年春は桜を鑑賞したり、散りゆく桜をみて感慨にふけるという心の余裕もなく、不安感いっぱい日々過ごし、ここまでやってきたという感じです。

われわれは「パンデミックがそこまで来ている」という現状認識を持たなければなりません。新型コロナについては、いろいろと解明されては来ています。しかし、まだまだわからないことばかりです。特效薬、ワクチンもまだです。対応策としては、何も前に進んでいないのです。

世界でも例を見ない高齢社会の日本、高齢者が感染すればどのようなことになるか、中年、若年層の感染が増加の一途をたどっている。そのためにどうしなければならないのか。われわれは十分理解しています。その対応策もこの1か月、限られた条件の中でやってきました。

しかし、4月14日現在、日本ではニューヨークやイタリアほどの感染爆発は起こっていませんが、罹患者、感染死者は右肩あがり増加しています。これは「これから起こりうる一大事の前兆」と見るべきか、「日本は何らかの理由で、感染爆発まではいかない。このままでなんとかなる。日本は世界でも例外だ。」と見るべきか。残念ながら、危機管理という面においては、前者の立場をとらざるを得ません。

大阪府では、緊急事態宣言を受けて、4月14日午前0時から休業要請が始まりました。医学的見地、社会・経済的見地のせめぎあいのような様相を呈しています。世界は、日本はいま、正解のない問題に直面しています。

私たちは、この世界の、この国の未来を守らなければなりません。ここで生き抜いていくしかないのですから。一人ひとり、責任を持って行動しましょう。そのことを強く申し上げておきます。

箕面自由学園中学校・高等学校としての方針は、前回にお示ししたもので全くぶれてはおりません。ただ、教育機関として、われわれ教職員は「現在、与えられた条件の中で、できうることは何か」の追及は継続的に実施しています。ただ、毎日毎日、物理的にトラブル続きです。われわれも先がわからぬまま、試行錯誤の連続であることも事実です。先が見えない不安、恐怖がこんなに恐ろしいものなのか、皆さん、実感しているのではないのでしょうか。

こんな状況下、本校の教職員はほんとうにたくましい。頼りになる。よくやっています。物理的なトラブルを乗り越えて、現在の箕面自由学園の条件の中で取り組めることにアイデアを出し合い工夫しながら、学年団、校務分掌中心に取り組んでいます。(私がこのように申し上げることに、いささか違和感をお持ちになるかもしれませんが、あえてここでは言わせてください。)

校長として、中学・高等学校全体を「管理のマネジメント」から「信頼のマネジメント」へ舵を切るタイミングだとつくづく感じております。とは言え、生徒諸君、保護者の方には大変ご迷惑をおかけしております。いましばらく、我慢してください。われわれも最善を尽くします。

そして、箕面自由学園中学校、高等学校の底力を見ていただきたいと思えます。

「どのように過ごせばいい？」～3つの提案

緊急事態宣言で、5月6日までは学校が休校となりました。では、われわれはどのように過ごしていけばよいのでしょうか？ 健康管理、STAY HOME は、当然やるとして、

- ① いままで、「やろうやろう」と思いながらも、「時間がない」ことを理由にして）手をつけることができなかったこと、集中的にやってみてはいかがでしょう。

例えば、部屋のかたづけ、衣替え、本（資料、写真）の整理、集中的に英会話に取り組む、読書、録画しておいたテレビ番組の視聴、パソコンを極める、英単語3000個覚えきるなど、「まとまった時間があったら、やりたいな」と思っていたことをこの際、トライしませんか。

- ② 体内時計の調節と体のメンテナンス

現代人は、とかく睡眠不足気味です。この際、しっかりと睡眠をとりましょう。

「自分にとって最も快適な睡眠は、どの時間帯なのか」というのを試行錯誤するのもいいかもしれません。快適な朝の目覚めができる睡眠の時間帯、睡眠の質の向上には、どうしたらいいかなどです。また、この時期、なかなか病院に行くのはためらうかもしれませんが、体のメンテナンスをするのもいいのではないのでしょうか。

特に新入生諸君は、本来ならば4月から劇的に日常生活が変化するはずだったのですが、むしろ、この2か月、以前より怠惰な生活を送っているかもしれません。

家から学校まで通学するには、「何時に起きてどのように通学するか」のシミュレーションはできていると思いますので、ぜひ、自分で決めたその時間に毎日起きて、この期間に体内時計をセットしてください。体内時計の調節には2週間～1か月かかります。新学期が始まれば、クラブ活動に参加する生徒も多いでしょう。時間の使い方、タイムマネジメントは大変重要です。この機会に体内時計の調節をしましょう。

- ③ 家事の役割分担

家事の役割分担をしましょう。家族の一員として、自分が責任を持ってやることをみんなで決める。自分のできることを増やしていく。

学校に通学しているときは、どうしても「時間がない」等を理由に家の人に任せていることを率先してやってみましょう。きっとやってもらっていたありがたみがわかるはずです。

この新型コロナのパンデミックは、われわれにたくさんの教訓を与えてくれています。

「あたりまえのように過ごしていた平凡な日常が、こんなにありがたい、大切なものだった」ことを私も日々痛感しています。

「この新型コロナ禍が通り過ぎれば～」というのは、まだまだ先のことです。

それまでにわれわれにはまだまだやるべきことがあります。

「取り戻すことができるもの」と「取り戻すことができないもの」

「取り戻すことができないもの」を守りましょう。

そして、この運命を受け入れましょう、我慢しましょう、耐えましょう、みんなでやりましょう。